

令和7年3月4日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置計画等の変更認可について
(お知らせ)

原子力機構は、新型転換炉原型炉ふげん（以下「ふげん」という。）の廃止措置計画について、2024年10月3日、原子炉等規制法*¹に基づき原子力規制委員会に変更認可申請（2025年2月6日一部補正）を行い、2025年2月28日付けで原子力規制委員会より認可をいただき、本日、認可証を受領しましたのでお知らせいたします。

また、「ふげん」の廃止措置計画の変更認可申請に伴い、2024年10月3日原子炉等規制法*²に基づき、原子力規制委員会に提出していた「ふげん」の原子炉施設保安規定の変更認可申請についても、2025年2月28日付けで原子力規制委員会より認可をいただき、本日、認可証を受領しましたのでお知らせいたします。

*1：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の34第3項において
準用する同法第12条の6第3項

*2：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の24第1項

(添付資料)

「ふげん」の廃止措置計画変更認可の概要について

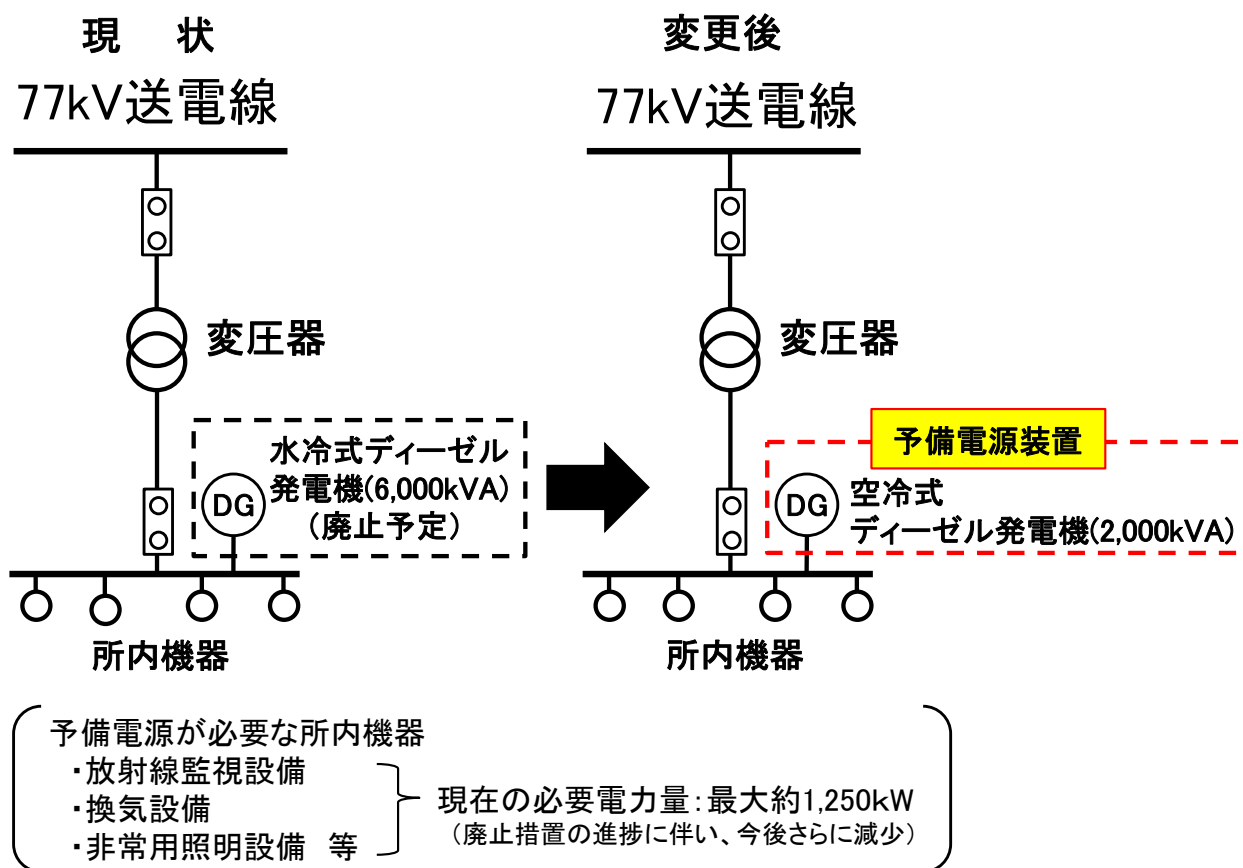
以上

「ふげん」の廃止措置計画変更認可の概要について

新型転換炉原型炉ふげんは、2024年10月3日に廃止措置計画変更認可申請を行い（2025年2月6日一部補正）、2025年2月28日付けで予備電源装置の設置について認可を受けた。

予備電源装置の設置

- ・ 廃止措置計画では、既設の非常用ディーゼル発電機を廃止措置段階に応じた規模の予備電源装置に取り替えることとしている。
- ・ 今回、予備電源装置として空冷式ディーゼル発電機を設置すること、およびその具体的な仕様、必要電力量の評価等を追加する。



予備電源装置(DG)の主な仕様

容量：2,000kVA
(定格1,600kW)

冷却方式：空冷

寸法等

幅：約 3m

長さ：約10m

高さ：約 5m



図 予備電源装置 イメージ